

1) 概要

a. 使用目的、施工場所および構造によって、固定 I 型、固定 II 型がある。

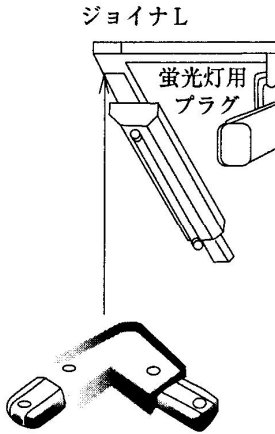
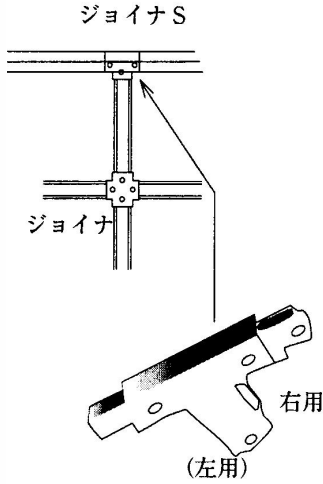
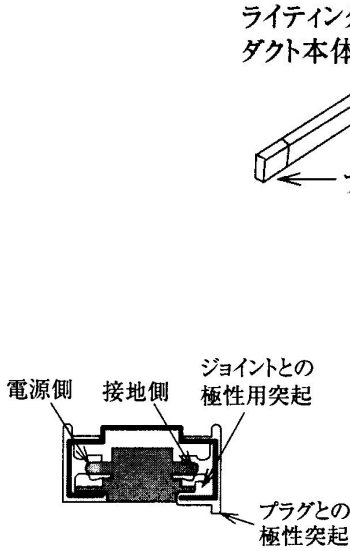


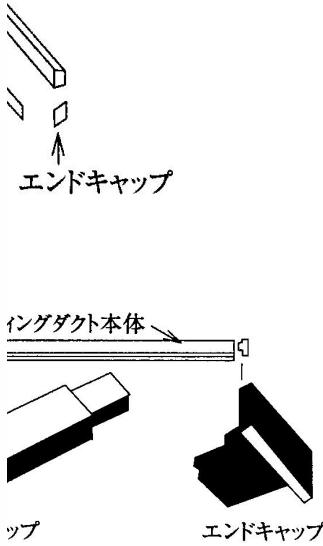
図 - 1 ライティングダクト



および付属品 (天井面取付け)



(b) ダクト本体の断面

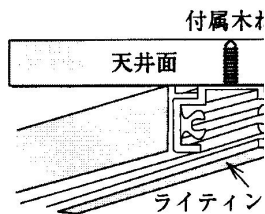


(c) 付属品

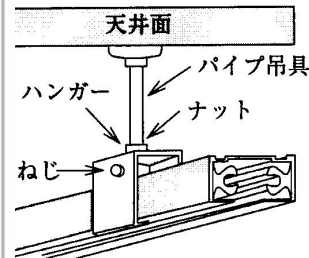
図 - 2 ライティングダクト固定 II 型の施工例およびその付属品 (壁面取付け)

2) 施工方法

- a. ラइटニングダクトは、屋内における乾燥した展開した場所や点検できる隠ぺい場所で使用し、造営材（床、壁、天井など）を貫通して施設することはできない。
- b. ダクトを造営材に支持する場合は、配線ダクト 1 本ごとに 2 箇所以上取り付け、支持点の間隔は 2m 以下とする。（図 - 3）
- c. 配線ダクト本体の長さを取付け方法に合わせて加減しながらダクト相互の接続をジョイナを用いて行う。配線ダクトの切断を切断し、やすりで面取りを行う。（図 - 4）
- d. 電源接続用フィードインキャップに極性に注意する。（図 - 5）
- e. ダクトの終端部は充電部が露出しないようにキャップの取付けをする。
- f. 配線ダクト開口部に、必要に応じて蓋を取り付けて覆う。（図 - 7）
- g. ダクトの開口部は、下に向けて型を使用する場合、または人が容易に侵入し難いように施設する。また、ダクトを人が容易に触れるおそれがあるときは、電源側に漏電遮断器を施設し、その他の絶縁物で金属部分を被覆したダクト（例えば、固定型）を用いる。接地電圧 150V 以下で、かつ長さが 4m 以下の場合、接地工事を省略する。
- h. ダクトには D 種接地工事を施設する。



(a) 取付けの場合



(b) パイプ吊りの場合

取付け

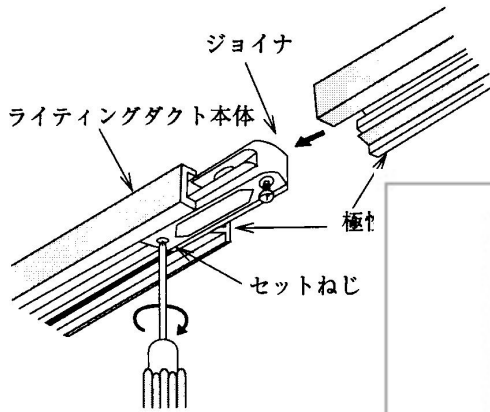
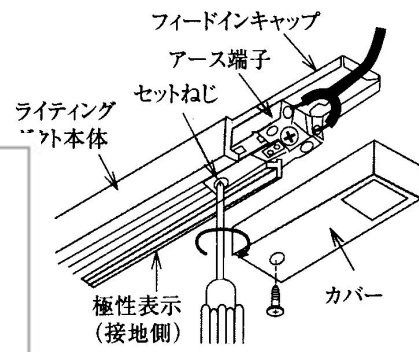


図 - 4 ダクト相互の接



電源線接続用フィードインキャップの取付け

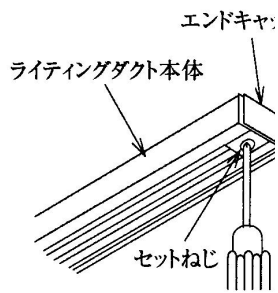


図 - 6 エンドキャップの

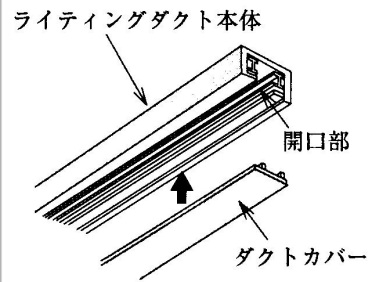


図 - 7 ダクトカバーの取付け

<http://gemba-know-how.com>